

編集後記

技術革新が加速する今、多彩な領域で社会価値創造に挑む7篇の論文が集いました。次号でも多くの成果を掲載する予定です。読者の皆様にご興味を持って頂けると幸いです。ちなみに、これら論文は全て人力です。(馬場定行)

本号では、製造、教育、農業、エネルギーなど多様な分野でのAI活用を紹介しました。技術そのものよりも、それをいかに現場で生かすか。各論文を通じて、その難しさと面白さを感じていただければ幸いです。(三ツ井淳一)

劇的な技術進化が進む今、質の高いデータとAIの融合が真価を問われています。単なる効率化のツールに留めず、いかに新しい社会的価値へと昇華させるか、2号に渡って当社の取り組みを感じていただければ幸いです。(岩下忠資)

AIは、試す段階から、業務に根付き価値を生み続ける段階へ来ています。本号では、この新たな段階に向けた実践の道筋を示しました。次号では、人とAIの協働などさらに掘り下げます。引き続きご期待ください。(林田英雄)

この夏、高校時代の級友と、卒業以来初めて会って旧交を温めました。今の高校生が40年後に再開すると「あの頃はまだ酷暑日で涼しかったよね」などと話すのでしょうか。残暑厳しき折、どうぞご自愛ください。(白木和彦)

夏の外の空気や日光に触れると「もはや生き物が生きていける環境ではない」と思われます。一方で、エアコンのつけっぱなしは外気温の変化も分からないうえ環境に悪すぎる、とはいえ命を脅かされるわけには、と堂々巡りをしているうちに夏が終わりそうです。(武本杏奈)

▶ 技報編集委員会

委員長 馬場定行
副委員長 三ツ井淳一、香林愛子
委員 田代杏樹、松本英樹、川原尚樹、
清家欽矢、川田清忠、川口真一、
林田英雄、羽生貴史、田中星一、
岩下忠資、阿野弘喜

▶ 技報編集事務局

編集制作担当 白木和彦、武本杏奈
(総合技術研究所)

● Editorial Board

S. Baba (Chairman)
J. Mitsui, A. Korin (Vice Chairman)
A. Tashiro, E. Matsumoto, N. Kawahara,
K. Seike, K. Kawata, S. Kawaguchi,
H. Hayashida, T. Hanyu, S. Tanaka,
T. Iwashita, H. Ano

● Editorial Staff

K. Shiraki, A. Takemoto
(Technology Research & Innovation)

ISSN 2758-352X

技 報

BIPROGY TECHNOLOGY REVIEW

Vol. 46 No. 2 (No. 169)

発	行	日	令和8年8月31日
編	集	人	馬 場 定 行
発	行	人	葛 谷 幸 司
発	行	所	BIPROGY 株式会社
			〒135-8560
			東京都江東区豊洲1-1-1
			TEL(03)5546-4111(大代表)
印	刷	所	三美印刷株式会社

禁無断複製転載